

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について

庄原市教育委員会
教育指導課

- 実施日 令和4年4月19日（火）
- 対象学年 小学校第6学年及び中学校第3学年

調査実施教科の平均正答率（％）

※県及び市の平均正答率については、小数点以下は公表されていない。

		庄原市	広島県	全 国
小学校	国 語	68	67	65.6
	算 数	64	64	63.2
	理 科	67	66	63.3
中学校	国 語	73	69	69.0
	数 学	50	50	51.4
	理 科	53	49	49.3

○ 国語の結果

小学校の国語においては、県平均正答率を1ポイント、全国平均正答率を2ポイント程度上回っている。

中学校の国語においては、県平均正答率及び全国平均正答率を4ポイント上回っている。

○ 算数・数学の結果

小学校の算数においては、県平均正答率及び全国平均正答率と同程度である。

中学校の数学においては、県平均正答率と同程度であるが、全国平均正答率を1ポイント程度下回っている。

○ 理科の結果

小学校の理科においては、県平均正答率を1ポイント、全国平均正答率を4ポイント程度上回っている。

中学校の理科においては、県平均正答率及び全国平均正答率を4ポイント程度上回っている。

県平均・全国平均との比較（領域等別）

▲は県平均正答率未満，△は全国平均正答率未満，

▲△は県平均・全国平均正答率未満，

下線は平均正答率 50%未満

〔小学校第6学年・国語〕

分類		区分	庄原市	広島県	全国
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	70.5	70.5	69.0
		情報の使い方に関する事項	—	—	—
		我が国の言語文化に関する事項	84.3	82.1	77.9
	思考力, 判断力, 表現力等	話すこと・聞くこと	70.2	67.4	66.2
		書くこと	53.3	52.1	<u>48.5</u>
		読むこと	▲66.8	67.8	66.6
問題形式	選択式	▲73.5	73.7	71.8	
	短答式	66.8	64.9	63.6	
	記述式	54.0	53.4	51.3	

〔小学校第6学年・算数〕

分類		区分	庄原市	広島県	全国
学習指導要領の 領域	数と計算	72.0	70.8	69.8	
	図形	▲64.0	64.8	64.0	
	測定	—	—	—	
	変化と関係	▲50.1	51.8	51.3	
	データの活用	68.9	68.9	68.7	
問題形式	選択式	▲50.7	52.4	51.8	
	短答式	▲76.3	76.8	76.5	
	記述式	64.0	61.9	60.2	

〔小学校第6学年・理科〕

分類		区分	庄原市	広島県	全国
学習指導要領の 区分・領域	「エネルギー」を柱とする領域	56.8	53.3	51.6	
	「粒子」を柱とする領域	63.6	63.6	60.4	
	「生命」を柱とする領域	79.0	77.1	75.0	
	「地球」を柱とする領域	▲64.7	66.7	64.6	
問題形式	選択式	69.4	68.7	66.8	
	短答式	▲67.3	70.0	66.2	
	記述式	56.7	50.8	<u>47.3</u>	

— 小学校の結果の概要（領域・問題形式別） —

（国語）

「言葉の特徴や使い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」の平均正答率は、県平均・全国平均正答率を上回っている。

「読むこと」の平均正答率が、県平均正答率を下回っている。

（算数）

「数と計算」の平均正答率は、県平均・全国平均正答率を上回っている。

「変化と関係」の平均正答率は、県平均・全国正答率を下回っており、課題が見られる。

「選択式」「短答式」の問題について、平均正答率が県平均・全国平均正答率を下回っている。

（理科）

「エネルギー」を柱とする領域、「粒子」を柱とする領域、「生命」を柱とする領域の平均正答率は、県平均・全国平均正答率を上回っている。

「地球」を柱とする領域の平均正答率が、県平均正答率を下回っており、課題が見られる。

〔中学校第3学年・国語〕

分類		区分	庄原市	広島県	全国
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	76.8	71.6	72.2
		情報の使い方に関する事項	<u>48.5</u>	<u>46.2</u>	<u>46.5</u>
		我が国の言語文化に関する事項	74.1	70.9	70.2
	思考力, 判断力, 表現力等	話すこと・聞くこと	70.3	65.9	63.9
		書くこと	<u>48.5</u>	<u>46.2</u>	<u>46.5</u>
		読むこと	74.9	68.3	67.9
問題形式		選択式	77.7	74.2	73.7
		短答式	71.9	68.7	70.3
		記述式	66.4	59.1	57.4

〔中学校第3学年・数学〕

分類		区分	庄原市	広島県	全国
学習指導要領の領域		数と式	▲52.9	54.5	57.4
		図形	▲39.6	<u>41.8</u>	<u>43.6</u>
		関数	△42.9	<u>42.2</u>	<u>43.6</u>
		データの活用	62.8	58.9	57.1
問題形式		選択式	△51.7	51.2	52.6
		短答式	▲62.2	62.9	65.7
		記述式	▲36.4	<u>36.5</u>	<u>36.2</u>

〔中学校第3学年・理科〕

分類		区分	庄原市	広島県	全国
学習指導要領の区分・領域		「エネルギー」を柱とする領域	<u>44.7</u>	<u>41.3</u>	<u>41.9</u>
		「粒子」を柱とする領域	54.9	<u>49.1</u>	50.9
		「生命」を柱とする領域	63.3	58.9	57.9
		「地球」を柱とする領域	<u>46.5</u>	<u>44.0</u>	<u>44.3</u>
問題形式		選択式	51.7	<u>48.5</u>	<u>49.6</u>
		短答式	<u>30.7</u>	<u>24.6</u>	<u>24.8</u>
		記述式	60.3	55.0	53.5

－中学校の結果の概要（領域・問題形式別）－

（国語）

すべての領域の平均正答率が、県平均・全国平均正答率を上回っている。

「情報の使い方に関する事項」「書くこと」の平均正答率が、50%を下回っており、課題が見られる。

（数学）

「データの活用」の領域の平均正答率は、県平均・全国平均正答率を上回っている。

「数と式」「図形」の領域の平均正答率が、県平均正答率を2ポイント程度、全国平均正答率を4ポイント以上下回っており、課題が見られる。

「図形」「関数」の領域の平均正答率が40%前後であり、課題が見られる。

（理科）

すべての領域の平均正答率が、県平均・全国平均正答率を上回っている。

「エネルギー」を柱とする領域、「地球」を柱とする領域の平均正答率が、50%を下回っており、課題が見られる。

令和4年度全国学力・学習状況調査における成果と課題

1 各調査問題における無解答率の平均

(%)

小学校	庄原市	広島県	全国	中学校	庄原市	広島県	全国
国語	2.9	4.5	5.7	国語	1.8	3.7	4.3
算数	2.1	2.8	3.5	数学	6.5	9.7	10.8
理科	2.3	2.6	3.6	理科	1.6	3.0	3.4

2 各調査問題における40%未満の児童生徒の割合

小学校	庄原市	広島県	全国	中学校	庄原市	広島県	全国
国語	11.5	13.0	15.0	国語	7.0	10.4	10.2
算数	17.3	16.8	17.8	数学	36.0	35.2	33.7
理科	15.0	14.1	16.4	理科	27.0	35.5	35.1

3 各調査における成果(○)と課題(●)

小学校国語

○必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心を捉えること。

話し合いの中で聞き手が話し手に質問し、知りたかったことの説明として適切なものを選択する問題 【大問1設問3】89.4%

○漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと。

文章を書き直した際、気を付けた内容として適切なものを選択する問題 【大問3設問4】84.3%

●互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめること。

「ごみ拾い」か「花植え」かを選んで、どのように話すかを書く問題 【大問1設問4】51.0%

●文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章の良いところを見付けること。

【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章2】のよさを書く問題 【大問3設問2】40.9%

中学校国語

○漢字の行書の読みやすい書き方について理解すること。

最初に書いた文字の漢字のバランスについて説明したものとして適切なものを選択する問題 【大問4設問2】88.8%

○事象や行為、心情を表す語句について理解すること。

「途方に暮れた」の意味として適切なものを選択する問題 【大問3設問2】88.4%

●自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと。

農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える問題 【大問2設問3】48.5%

●行書の特徴を理解すること。

行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する問題 【大問4設問1】48.1%

小学校算数

- 被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすること。

1050×4 を計算する問題
【大問1設問(1)】93.9%

- 示された場面を解釈し、除法で求められる理由を記述すること。

カップケーキ7個分の値段を $1470 \div 3$ で求められる理由を書く問題
【大問1設問(3)】83.8%

- 示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察すること。

85×21 の答えが1470より大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ問題
【大問1設問(4)】32.5%

- 示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解すること。

果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ問題
【大問2設問(3)】18.3%

小学校理科

- 問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつこと。

見出された問題を基に、観察の記録が誰のものであるかを選ぶ問題
【大問1設問(1)】93.4%

- 観察などで得た結果を、結果から言えることの視点で分析して解釈し、自分の考えをもつこと。

観察からいえることは、提示された結果のどこを分析したものなのかを選ぶ問題
【大問4設問(3)】42.4%

- 日光は直進することを理解すること。

光の性質を基に、鏡を操作して、指定した的に反射させた日光を当てることができる人を選ぶ問題
【大問3設問(1)】34.3%

中学校数学

- 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解すること。

容器のふたを投げたときに下向きになる確率を選ぶ問題
【大問5】86.7%

- 一次関数の変化の割合の意味を理解すること。

変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ問題
【大問4】30.7%

- 筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明すること。

$\angle ABE$ と $\angle CBF$ の和が 30° になる理由を示し、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になることの説明を完成させる問題
【大問9設問(2)】10.0%

中学校理科

- モデルを使った実験において、変える条件と変えない条件を制御した実験を計画すること。

タッチパネルの反応に水が関係しているかを調べるために、変える条件と変えない条件を適切に設定した実験操作の組み合わせを選択する問題
【大問1設問(2)】86.3%

- 化学変化における知識及び技能を活用して、水素の燃焼を分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表すこと。

分子のモデルで表した図を基に、水素の燃焼を化学反応式で表す問題
【大問3設問(1)】80.9%

- 飛行機雲を科学的に探究する学習場面において、地上の観測データを用いて考察を行った他者の考えについて、多面的、総合的に検討して改善すること。

上空の気象現象を地上の観測データを用いて推論した考察の妥当性について判断する問題
【大問2設問(3)】29.0%

- 力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明すること。

おもりに働く重力とつり合う力の矢印を選択し、その力について説明する問題
【大問5設問(1)】12.4%